芦屋室内合奏団

Ashiya Chamber Orchestra

第４８回定期演奏会

The 48th Annual Concert

みつなかホール

Mitsunaka Hall

平成２６年１１月３日（月）

Monday, November 3, 2014

開 場　午後１時３０分　　開 演　午後２時

Doors Open at 1:30 p.m.　　*Starts at 2 p.m.*

ごあいさつ

芦屋室内合奏団は1965年に芦屋市浜町の橋本邸で発足し来年には創立50周年を迎えます。50年という年月の間に団員の入れ替わりも多くありましたが、アマチュアでも質の高い音楽を演奏するという発足当時の熱い想いが、当団の活動の原動力として途絶えることなく受け継がれています。

この伝統も、演奏会にいらしてくださるお客様、ご指導してくださる指揮者・トレーナーの諸先生方、活動を陰で支えてくださるホール・練習施設・演奏会スタッフの皆様、団員をサポートしてくれる家族、多くの方々のご協力とご支援あっての賜物と心より感謝しております。

これからも様々な作品にチャレンジして上質な音楽を目指して活動してまいりますので、引き続き皆さまの温かいご支援・アドバイスの程よろしくお願い申し上げます。

2014年11月　芦屋室内合奏団　　団長　鈴木 雄二
団員一同

Program

ジェミニアーニ　合奏協奏曲 ニ短調 （コレッリのソナタ 「ラ・フォリア」による）
F. Geminiani　Concerto Grosso in D Minor (after Corelli's Sonata, Op. 5, No. 12, "La Follia")

第1ヴァイオリン独奏	鳥丸 安雄	1st Vn solo : Yasuo Torimaru
第2ヴァイオリン独奏	吉岡 道子	2nd Vn solo : Michiko Yoshioka
ヴィオラ独奏	鈴木 雄二	Va solo : Yuhji Suzuki
チェロ独奏	鳥丸 直子	Vc solo : Naoko Torimaru

ヴィヴァルディ　調和の霊感～二つのヴァイオリンのための協奏曲　イ短調　作品3－8
A.L.Vivaldi　L'estro Armonico / Concerto for 2 Violins in A Minor, Op. 3, No. 8, RV 522

第1ヴァイオリン独奏	鳥丸 安雄	1st Vn solo : Yasuo Torimaru
第2ヴァイオリン独奏	吉岡 道子	2nd Vn solo : Michiko Yoshioka

モーツアルト　アイネ・クライネ・ナハトムジーク　K. 525
W.A.Mozart　"Eine Kleine Nachtmusik" in G Major, K. 525,

～～～ 休 憩 ～～～

ブラームス　弦楽六重奏曲第1番 変ロ長調 Op. 18（弦楽合奏版）
J.Brahms　String Sextet No. 1 in B-Flat Major, Op. 18

指揮　酒井 睦雄（相愛大学教授）　Conductor : Mutsuo Sakai

演奏　芦屋室内合奏団　Ashiya Chamber Orchestra

曲目解説

■ジェミニアーニ作曲 合奏協奏曲 ラ・フォリア

フォリアは１６世紀頃、西ヨーロッパに起源をもつ楽曲形式のひとつで、当初はテンポの速い舞曲の旋律に特定の通奏低音を加えた枠組みを指しました。フォリアがイタリア語で「愚行、狂気」を意味することから、熱狂的な踊りのための音楽だったという説があります。１７世紀に入りフランス作曲家リュリが３拍子のゆっくりした踊りの旋律に定型通奏低音・和音進行を加えたラ・フォリアを作曲し、以降、近現代に至るまで多くの作曲家がラ・フォリアに基づく変奏曲を作曲しています。最も有名なものはイタリアの作曲家コレッリが１８世紀初頭に作曲したヴァイオリンソナタで、ラ・フォリアといえばこれを指すようになりました。本日演奏するのはコレッリのソナタをイタリア後期バロック作曲家でヴァイオリニストでもあったジェミニアーニが編曲したものです。１６小節からなるフォリアのテーマと２２の変奏曲は、熱狂的な踊りを想わせる曲調から憂いを帯びた変奏まで変化に富んでいます。(Y.T)

■ヴィヴァルディ作曲 ２つのヴァイオリンのための協奏曲 イ短調 作品３－８

ヴィヴァルディは１８世紀イタリアで活躍した後期バロックの代表的作曲家・ヴァイオリニストでヴァイオリンやフルートのために５００余りの協奏曲を書いています。ヴァイオリン協奏曲では「四季」を含む作品８が有名ですが、それに先立つ作品３は１本から４本のヴァイオリンのための１２曲の協奏曲集で、「調和の霊感」の副題がついています。合奏協奏曲の先駆者として有名なコレッリの影響を受け、合奏とソロが交互に絡み緊張感を高めるといった手法も活用していますが、よりヴァイオリンらしい技巧的ソロや自由に美しく歌う部分も多く、古典派以降の協奏曲の形に近くなってきています。今日演奏する作品３の８は２本のヴァイオリンがソロです。ヴァイオリンや 弦楽合奏を楽しむ方なら一度は弾いたり聞いたことがあるお馴染みの曲です。３つの楽章からなり、活発なアレグロに挟まれた第２楽章は２本のソロ・ヴァイオリンが美しく歌います。(Y.T)

■モーツァルト作曲　アイネ・クライネ・ナハトムジーク　K.525

モーツァルトの作品の中でも最も有名な曲の一つであるこの曲は、1787年に完成されました。モーツァルトの比較的晩年の作品で、同時期の作品としてはオペラの傑作「ドン・ジョヴァンニ」があります。曲の題名は直訳すれば「小さな夜曲」ということになりますが、これは作曲者自身によってつけられています。曲は４楽章からなり、第１楽章アレグロは爽やかで流れるように軽快に進みます。映画「アマデウス」の中で「誰でも知っているメロディ」として口ずさまれたほど有名な出だしです。第２楽章ロマンツェは愛を語り合う様が思い浮かびます。力強い３拍子のメヌエットを経て、第４楽章ロンドは生き生きとして上品な華やかさを持って曲を閉じます。なお、この曲はもともと５楽章からなることがわかっていますが、第２楽章メヌエットとトリオは失われており、現在ではこの４楽章で演奏されています。(K.H)

■ブラームス作曲　弦楽六重奏曲第１番　変ロ長調　Op.18　（弦楽合奏版）

この曲はブラームスの作曲した室内楽作品の中では最も人気のある作品ですが、その特殊な編成のため、弦楽四重奏曲などの他の室内楽作品と比べると、コンサートで演奏される機会は少ないのです。ブラームスの比較的初期の作品ですが、弦楽四重奏に中音のヴィオラと低音のチェロを加えた弦楽六重奏という重厚な響きの特性を生かし、非常に充実した音楽が展開されます。流れるようなやわらかな響きが美しく、若きブラームスの希望と情熱がたっぷりとつまった瑞々しい音楽です。第１楽章は情熱的でありながらどこか温かい懐かしさを感じさせます。第２楽章は映画「恋人たち」のテーマ曲として使用されたので有名です。第１ヴィオラから始まる旋律をもとにした素晴らしい変奏曲です。第３楽章は明るく颯爽としたスケルツオで、第４楽章は明るい伸びやかなメロディが穏やに流れ、時に激しく姿を変えてゆきます。(K.H)

プロフィール

■酒井 睦雄　指揮、音楽監督

桐朋学園高等学校音楽科を経て1971年桐朋学園大学卒業。指揮を斎藤秀雄、秋山和慶両氏に、クラリネットを北爪利世、二宮和子、F. フックス各氏に師事。1971年より相愛オーケストラ指揮者、1977年ザルツブルクにてO. スイトナー氏に師事。同年、東京にてS. チェリビダッケ氏のゼミナールに参加。

2001年には芦屋室内合奏団を率いてドイツのバンベルクにてバンベルク交響楽団団員とともにニューイヤーコンサート、ドレスデンにてフラウエン教会落成記念コンサート等を行い好評を博す。

2005年第19回京都芸術祭音楽部門京都府知事賞受賞。現在、相愛大学教授として音楽専門家の育成にあたる傍ら、1974年より芦屋室内合奏団音楽監督、高知大学管弦楽団常任指揮者、京都薬科大学管弦楽団常任指揮者をつとめる等、アマチュア合奏団の発展にも尽力している。

■河村 典子　アンサンブル指導

3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園付属子供のための音楽教室、桐朋女子高等音楽学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部を4年目に退学、同じ年に、西ドイツ政府給費留学生となり渡独。ミュンヘン音楽大学、エッセン音楽大学、ベルリン芸術大学にて研鑽を積む。久保田良作、ジャン・ローラン、サシュコ・ガヴリロフ各氏に師事。

チューリッヒを拠点に積極的なソロ、室内楽の演奏録音活動を行い、スイス・ドイツにおける古城コンサート鑑賞ツアー、乙女文楽コンサートツアー、スイス外務省広報部との協働によるENISHIプロジェクトなどのプロデュースも手がけている。また、室内楽セミナーも積極的に開催し、毎年軽井沢にて春・夏の室内楽ワークショップを行うなど後進の指導にあたっている。2011年より芦屋室内合奏団を指導。

■芦屋室内合奏団

Members

ヴァイオリン	：	浅野 忠	喜多 智佐子	小西 一美	白石 知哉	鈴木 光比古
		烏丸 安雄	橋本 栄子	藤本 恭子	堀田 純子	◎三村 誠子
		○吉岡 道子	中村 亜季*			
ヴィオラ	：	伊藤 恵子	河野 俊夫	鈴木 信子	鈴木 道子	○鈴木 雄二
チェロ	：	○烏丸 直子	堀田 一之	宮崎 晴夫		
コントラバス	：	末松 秀樹				
チェンバロ	：	小津 久子				

（◎：アシスタントコンサートマスター　○：パートリーダー　*：賛助）

Officials

団長	：	鈴木 雄二	コンサートマスター	：	烏丸 安雄
インスペクター	：	吉岡 道子	事務局長	：	伊藤 恵子
会計	：	堀田 純子	監事	：	末松 秀樹

次回定期演奏会のご案内

創立５０周年記念演奏会

2015年9月26日（土）　伊丹アイフォニックホール

曲目等詳細はホームページでご案内いたします。

芦屋室内合奏団ホームページ　*http://orchestra.musicinfo.co.jp/~ACO/*